

なかがわ

広報

2016. 4



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.127

- 平成28年度那珂川町予算 2
- 平成27年度全国体力・運動能力調査結果 6
- ホースヘッズ村海外体験学習報告 8
- 平成28年度職員配置一覧 12
- 卒業おめでとう 15



卒業おめでとう
(馬頭東小学校)

自主財源は全体予算の 36.4%に

歳入の構成については、大きく分けて自主財源（町税や使用料、手数料など町独自でまかなえるもの）と依存財源（地方交付税、国・県支出金、町の借金である町債等）の2つに分けられます。

自主財源については、主力財源である町税のうち、町民税、法人税等が減額となりますが、財政調整基金、減債基金、地域振興基金等の基金からの繰入金を増額いたしました。

また、依存財源では、税率引き上げに伴う地方消費税交付金が増額となるほか、町債についても、庁舎整備事業費や、認定こども園整備事業費、町道改良費など、大型事業に充当するため大幅な増額となりますが、将来の財政負担が軽減される過疎対策事業債、合併特例事業債を活用することとします。さらに、国が地方の財源を保障する、地方交付税は30億円、財源補てんのための臨時財政対策債は3億円を計上いたしました。

一般会計予算を財源別に見てみると、自主財源は、36億2,826万円で、構成比は36.4%となっています。自主財源の中心となる町税は、18億5,191万円で歳入全体の18.6%となっています。また、依存財源は63億5,174万円で、構成比は、63.6%となっています。依存財源の核となる地方交付税は、30億円で歳入全体の30.1%を占めています。

歳入 99億8,000万円

町税 18億5,191万 (18.6%)	自主財源 (36.4%)
繰入金 12億9,481万 (13.0%)	
分担金及び負担金1億2,497万 (1.2%) 使用料及び手数料9,547万 (1.0%)	
その他の自主財源2億6,110万 (2.6%)	
地方交付税 30億 (30.1%)	依存財源 (63.6%)
町債 15億9,000万 (15.9%)	
国庫支出金 5億3,389万 (5.3%)	
県支出金 6億3,155万 (6.3%)	
その他の依存財源 5億9,630万 (6.0%)	

平成28年度 予算

平成28年度は、第2次那珂川町総合振興計画の初年度であることから、「一人・もの・自然が融和し、みんなで手を取り合い、元気を生み出すまち」の実現を目指すため、まちづくり基本目標に沿った予算を計上しました。

平成28年度一般会計予算は、99億8,000万円となり、前年度予算に対し、3億9,000万円増（4.1%増）の予算となりました。その主な要因は、認定こども園の整備、町道76号線などの道路整備や、平成27年度から実施しております庁舎建設工事のほか、地域おこし協力隊、プレミアム商品券発行補助など、地方創生の拡充が主なものです。

一般会計・特別会計・企業会計予算額(前年との比較)

(単位：千円：%)

会計区分	項目	平成28年度	平成27年度	比較増減	対前年度比率
一	一般会計	9,980,000	9,590,000	390,000	4.1
特別会計	ケーブルテレビ事業	478,000	478,000	0	0.0
	国民健康保険	2,520,000	2,500,000	20,000	0.8
	後期高齢者医療	201,000	199,000	2,000	1.0
	介護保険	1,894,000	1,863,000	31,000	1.7
	下水道事業	316,000	311,000	5,000	1.6
	農業集落排水事業	49,000	49,000	0	0.0
	簡易水道事業	238,000	205,000	33,000	16.1
	計	5,696,000	5,605,000	91,000	1.6
企業会計	上水道(支出計)	313,631	323,025	△9,394	△2.9
	東部簡易水道(支出計)	156,639	133,789	22,850	17.1
	計	470,270	456,814	13,456	2.9
	総計	16,146,270	15,651,814	494,456	3.2

歳出 99億8,000万円

性質別

維持補修費 7,431万 (0.7%)	人件費 17億2,886万 (17.3%)	消費的経費 (50.1%)
	補助費等 12億9,888万 (13.0%)	
	物件費 12億4,251万 (12.5%)	
	扶助費 6億6,363万(6.6%)	
災害復旧 事業費 1万 (0.0%)	普通建設事業費 26億288万 (26.1%)	投資的経費 (26.1%)
	積立金 1,032万 (0.1%)	
その他 900万 (0.1%)	繰出金 13億84万 (13.0%)	その他 (23.8%)
	公債費 9億427万 (9.1%)	
	貸付金 1億4,449万(1.5%)	

目的別

総務費 26億5,077万 (26.5%)
民生費 23億8,378万 (23.9%)
教育費 10億6,386万 (10.7%)
公債費 9億427万 (9.1%)
土木費 8億8,351万 (8.8%)
消防費 4億5,863(4.6%)
衛生費 6億8,648万(6.9%)
農林水産業費 4億6,639万(4.7%)
商工費 3億7,974万(3.8%)
その他 1億257万(1.0%)

投資的経費は26.1%に

歳出については、町民ニーズを検証し、安心・安全な生活基盤を構築するため、費用対効果の観点から、各事務事業の見直しを図り、財政の健全化の確保に配慮しながら、魅力ある地域社会の形成を進めるための予算編成といたしました。

主な事業については、総務費では、庁舎整備事業、ケーブルテレビ事業特別会計繰出金のほか、まちづくり等に要する経費です。

民生費の主なものは、認定こども園整備費、障害者福祉サービス事業費や児童手当支給事業費のほか、後期高齢者医療特別会計繰出金や介護保険特別会計繰出金などです。

教育費の主なものは、馬頭中学校太陽光発電設備設置工事などの、小・中学校施設整備事業や、スクールバスの配備、コンピューター教育の推進など各学校の運営に係るもののほか、各種教室、講座の開催など社会教育事業の経費など、生涯学習に関する経費です。

このほか、公債費、土木費、消防費、衛生費、農林水産業費、商工費などとなっています。

歳出の性質別内訳は、建設事業費などの投資的経費と人件費や物件費などの消費的経費、公債費などのその他の経費の3つに分けることができます。投資的経費は、26億289万円で、構成比は26.1%、消費的経費は、50億819万円で、構成比は50.1%となりました。また、その他の経費は、23億6,892万円で、構成比は23.8%となっています。

町民1人当たりの目的別の予算額は(平成28年3月1日現在人口17,552人)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	(単位：円)	
5,558	151,024	135,813	39,111	26,572	21,635		
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	予備費	合計	
50,337	26,130	60,612	1	51,519	285	568,597	

平成28年度予算の主要施策(一般会計予算)

快適に暮らせるまちをつくる

○町道改良舗装事業	154,500千円
○地方道路交付金事業	214,000千円
○デマンド交通運行事業	20,835千円
○常備消防、非常備消防管理運営	372,451千円
○空き家改修等支援事業	1,500千円

人を育むまちをつくる

○馬頭高等学校通学費等の助成	11,520千円
○小学校施設整備事業	30,160千円
○中学校施設整備事業	67,250千円
○文化振興事業	11,958千円
○国際交流事業	5,213千円

元気で明るく暮らせるまちをつくる

○予防接種事業	43,055千円
○障害者福祉費	375,710千円
○児童手当支給事業	220,460千円
○こども医療費助成事業	35,800千円
○南那須地区広域行政事務組合病院費負担金	84,686千円



活力をおこすまちをつくる

○畜産振興事業	71,630千円
○中部中山間地域総合整備事業	21,893千円
○とちぎの元気な森づくり事業	17,380千円
○商工業振興事業	36,829千円
○観光振興事業	62,809千円

まちづくりの3大重点プロジェクト

- 「雇用の創出」推進プロジェクト
 - ・〈仮称〉(株)なかがわ元気プロジェクト会社
設立出資金 4,000千円
 - ・企業立地促進、雇用推進奨励事業
75,000千円
- 「結婚・出産・子育て」推進プロジェクト
 - ・認定こども園整備事業
380,000千円
- 「新しい人の流れ創出」推進プロジェクト
 - ・宅地造成事業 20,000千円
 - ・地域おこし協力隊事業 23,571千円
 - ・プレミアム商品券発行事業 20,000千円

人と自然が共生するまちをつくる

○ごみ収集対策事業	236,898千円
○し尿処理対策事業	63,013千円
○低炭素まちづくり推進設備等導入事業	7,600千円

ともに考え行動するまちをつくる

○庁舎整備事業	1,457,587千円
○なかがわ元気プロジェクト事業	5,500千円



増子育男氏に旭日単光章



2月に満88歳の米寿を迎えられた元小川町議会副議長増子育男氏(浄法寺)は、地方自治功労の功績が認められ、旭日単光章を受章されました。
増子氏は、昭和54年に小川町議会議員に当選し、以来20年にわたり地方自治の発展に尽力されました。誠にありがとうございます。

那珂川町消防団荒井諭団長 消防庁長官より功労章



平成27年度消防功労者消防長官表彰式が3月9日に東京都ニッショーホールで開催されました。
荒井諭団長(健武)は永年の災害への防除と消防力の強化に対する功績が認められ、功労章を受章しました。
荒井団長は「名誉な賞を頂き光栄です。この功績に恥じぬよう、より一層精励していききたいと思えます」と話しました。

民生委員・児童委員に益子廣美氏



厚生労働大臣から、益子廣美氏(健武)が健武上地区(大鳥・荒沢・細田)の民生委員・児童委員に委嘱されました。任期は、平成28年11月30日までです。
前任の田村里子氏(健武)には、県知事・町長・町社会福祉協議会長から感謝状が贈られました。

軽自動車の税額が変わります

税制改正に伴い、平成28年度より軽自動車税が変更になります。税額につきましては、左記の表をご参照ください。
軽自動車(三輪・四輪)につきましては、車検証に記載された初年度検査年月により、適用される税額が異なります。
詳しい税額につきましては、5月2日発送予定の軽自動車税納税通知書をご覧ください。

車種内容		税額 (※1)	旧税額 (※2)	重課税額 (※3)	
軽自動車	二輪	3,600円			
	三輪	3,900円	3,100円	4,600円	
	四輪	乗用(自家用)	10,800円	7,200円	12,900円
		貨物(自家用)	5,000円	4,000円	6,000円
		乗用(営業用)	6,900円	5,500円	8,200円
貨物(営業用)	3,800円	3,000円	4,500円		
	ボート・トレーラー	3,600円	〈軽自動車 三輪・四輪の税額について〉		
原付	一種(50cc以下)	2,000円	※1		
	二種(90cc以下)	2,000円	平成27年4月1日以後に新規登録した車両		
	二種(125cc以下)	2,400円	※2		
二輪の小型自動車		6,000円	平成27年3月31日以前に新規登録した車両		
小型特殊	農耕用	2,400円	※3		
	その他	5,900円	平成28年4月で車検証の初年度検査年月から13年を経過した車両		
ミニカー		3,700円			

問い合わせ 税務課 ☎0287(92)1120

平成27年度

小中学生の全国体力・運動能力調査結果

昨年4月から7月にかけて、小学5年生と中学2年生を対象に実施した「平成27年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の報告書から、那珂川町の児童生徒の実態をお知らせします。

この調査結果から、生活習慣の見直しや運動に対する意識改善などが必要であり、子どもの体力向上に向けた取り組みを皆さんとともに考えてみたいと思います。

体力・運動能力合計点の状況

体力・運動能力調査は、握力、持久走、50m走、ハンドボール投げなど9項目あり、那珂川町の小学5年男子合計点の平均値は54・08で全国平均の53・80を0・28ポイント上回り、女子合計点の平均値についても55・60で、全国平均55・18を0・42ポイント上回っています。

ところが、中学2年男子合計点の平均値は、39・63と全国平均41・89を2・26ポイント下回り、女子についても46・44で、全国平均49・08を2・64ポイント下回りました。

このことから、小学5年生では男女とも体力テスト合計点の平均値が全国及び県の平均値よりも高いのですが、中学2年生になると男女ともに低くなっています。(表1)

表1 体力合計点平均値の比較

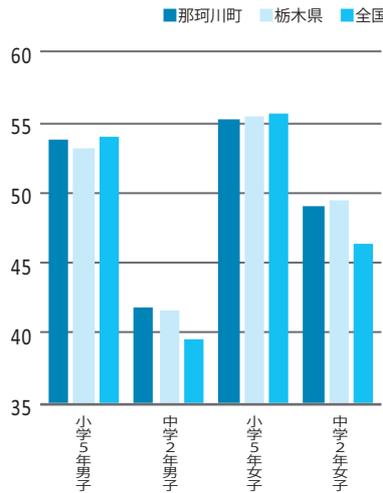
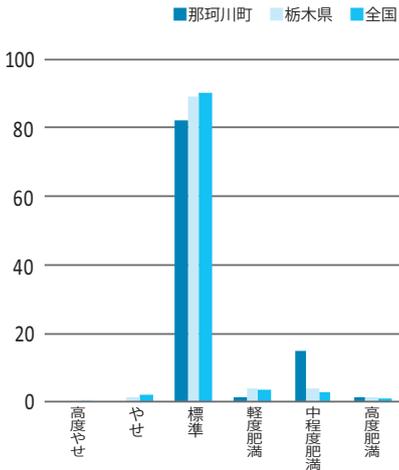


表2 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)【中2男子】



また、調査ではAからEまでの5段階の総合評価があり、那珂川町の小学5年女子はAやEの割合が全国と比較して高く、BやCの中間層の割合が低くなっており、二極化に分かれている状況が分かります。

肥満傾向児の出現率の状況

肥満傾向児・痩身傾向児の出現率を見てみると、特に、中2男子の高度肥満・中程度肥満の出現率が全国と比較すると高くなっており、中等度肥満が全国で2・8%のところ、那珂川町の生徒は14・9%で約5・3倍の出現率となっています。(表2)

それと併せ、中学2年男子の平日のゲームをする時間を見てみると、「まったくくしない」が全国で9%に対し、当町では3・2%、「1時間未満」が全国で24・5%に対し、当町では11・3%、「1時間以上3時間未満」が全国で42・4%に対し、当町では38・7%、「3時間以上5時間未満」が全国で16%に対し、当町では32・3%、「5時間以上」が全国で8・1%に対し、当町では14・5%という結果でした。

特に、当町の生徒がゲームをする割合が、「3時間以上5時間未満」「5時間以上」で全国と比較すると約2倍となっています。(表3)

また、中学2年男子の平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間では、

「3時間以上5時間未満」が全国で8・8%に対し、当町では13・1%、「5時間以上」が全国で4・2%に対し、当町では6・6%でした。

これも「3時間以上5時間未満」「5時間以上」使用する生徒の割合が全国と比較すると、当町の生徒は約1・5倍という結果でした。(表4)

表3 平日のゲームをする時間【中2男子】

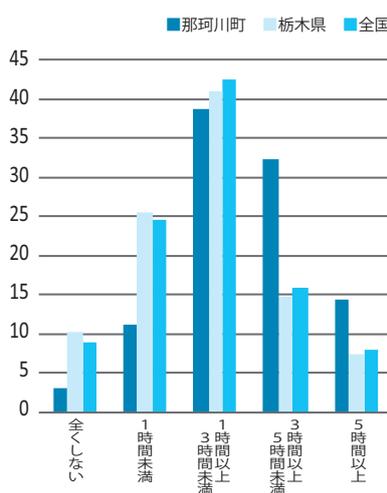
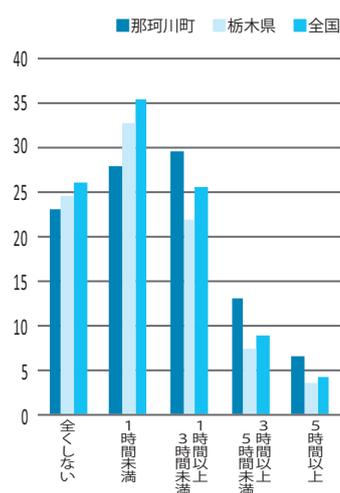


表4 平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間【中2男子】



調査結果から考えられること

小学校では部活動がなくなり、野球やソフトボール、サッカーなどに親しむことが極端に少なくなったことや、スポーツ少年団活動に参加している児童と参加していない児童で運動に親しむ機会が二極化していること。また、スクールバス利用のため歩く機会が減り、体力の低下を招いていると考えられます。

さらに、テレビやゲームで遊ぶ子どもが増え、外遊びがどんどん減っているため、肥満傾向の児童が増加していることなどが考えられます。

中学校においては、幼少期からの運動経験の差が中学校で格差のように表面化していること。テレビやゲーム、携帯電話等の家遊びの日常化やスクールの利用、親の送り迎えなど普段の生活の中での運動量の減少が見られることなどが考えられます。

運動の意識を高めるためには

運動やスポーツへの意識の高い児童生徒は、体力や運動能力が高い児童生徒の割合が多いという結果になっていることから、運動やスポーツへの意識を高め運動時間を延ばし、体力を向上させる好循環を目指す必要があると考えます。

まずは、できなかったことができる

ようになる楽しさを感じ、その種目の特性や魅力に触れる喜びを味わうことが重要であり、運動やスポーツの実施への好循環へとつながっていくものと考えます。

児童生徒の体力向上に向けた取り組み

小中学校では、小中連携教育推進事業の「健康・体力向上部会」で、調査結果から実態を把握し、共通理解を図り、具体的取り組みを継続して行うこととしていきます。取り組みの概要は、日常の授業では3分間走や3分間縄跳び、サーキットトレーニングの実施等工夫改善を図っています。

また、授業以外では朝の全校50m走、立腰体操、一輪車や他の遊具を使った運動の奨励、長期休業中の体力づくりカードの活用、中学校では部活動相互の交流を図った体力トレーニングなどを実施しています。

すべてにつながる基本的な生活習慣

調査の結果から、運動実施頻度が体力に大きな影響を与えていることがわかります。運動の機会を増やすには、適切な睡眠、朝食の摂取、テレビ等視聴時間の改善などにより基本的な生活習慣を確立することが必要です。

町では、生活習慣を見直すため『那珂川町の子どもたちの約束』を学校や公民館などに掲示・推進しているほか、



携帯電話、スマートフォン、テレビ、ゲームなどを正しく使う「児童生徒の携帯電話等の利用に関するルール」を児童生徒の家庭に配布し、活用してもらっています。生活習慣の見直しにはこれらのルールの徹底と実践が重要であり、家庭・学校・地域が一体となり那珂川町全体で児童生徒の体力の向上、健康の保持増進に取り組んでいく必要があります。

平成27年度小中学生の全国体力・運動能力調査の結果は、町ホームページにも掲載しておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。

問い合わせ

学校教育課

☎0287(96)2114

児童生徒の携帯電話等の利用に関するルール

那珂川町
NAKAGAWA TOWN

PTA連絡協議会
青少年育成協会
小中学校委員会
教育委員会

児童生徒の携帯電話等の 利用に関するルール

保護者の方へ

- 1 必要のないときは持たせない。
- 2 持たせる場合は必ずフィルタリングを設定する。

- 1 夜9時以降は必ず保護者が預かる。

小中学生の皆さんへ

- 1 悪口、無視、ないしなどはしない。
- 2 学校へは持ちこまない。
- 3 夜9時以降は必ず家の人に預ける。

※ 家の人が見やすい場所に掲示してください。



那珂川町の子どもたちの約束



- 1 いじめをしない・させない・ゆるさない
- 2 早寝・早起き・朝ごはん、
テレビを止めて・外遊び
- 3 あいさつ・返事・ありがとう

那珂川町の町民（家庭・地域）は、
みなで子どもたちを支え、応援します。



那珂川町教育委員会

アメリカ ホースヘッズ村



聖パトリックの日 パレード参加

青少年海外体験学習報告

平成27年度町青少年海外体験学習は、3月11日から22日までの12日間、米国ホースヘッズ村などを訪問しました。今回で23回目の訪問となり、生徒12名（馬頭中7名、小川中5名）と山口武彦団長、生徒指導担当の中山美穂教諭、事務局1名の総勢15名の訪問団は、ホースヘッズ村滞在での8日間をホストファミリーと過ごし、アメリカの家庭生活や学校生活を肌で感じてきました。

海外体験学習での出会いや感動、関係者への感謝の気持ちを、生徒の感想と写真で紹介いたします。



平成27年度青少年海外体験学習派遣事業日程表

月日	地名	日程
3/11(金)	すこやか共生館集合 成田発⇒ホースヘッズ村	すこやか共生館・出発式⇒成田空港⇒シカゴ空港⇒エルマイラ空港⇒ホストファミリーと対面、ホストファミリー宅へ
3/12(土)		ホースヘッズ村聖パトリックの日パレード参加、歓迎夕食会
3/13(日)		ホストファミリーと一緒にピザ作り体験、パーク教会見学
3/14(月)		ホストファミリーと一緒に登下校・授業参加、スポーツナイト
3/15(火)	ホースヘッズ村	リッジロード小学校訪問(児童の演劇鑑賞)、歴史協会資料館見学
3/16(水)		コーニングガラス博物館見学、ハンズ・アン・ガラスのガラス工芸体験、アイスホッケー観戦
3/17(木)		コーネル市遠足(峡谷見学とハイキング)、コーネル大学見学
3/18(金)		ホストファミリーと一緒に登下校・授業参加、文化交流、ありがとうパーティ
3/19(土)	ホースヘッズ村⇒ ニューヨーク	ホースヘッズ村⇒ニューヨーク(移動)
3/20(日)	ニューヨーク	ニューヨーク市内見学(自由の女神、自然歴史博物館見学、セントラルパーク周辺視察)
3/21(月)	ニューヨーク発(機中泊)	ニューヨーク空港⇒成田空港
3/22(火)	成田着 すこやか共生館解散	成田空港⇒すこやか共生館着、帰国式
3/29(火)	小川庁舎	第1回事後研修会(サンキュレーター、報告書作成)



パーク教会見学



ウェルカムパーティにて



メイプルシロップ作り体験



ガラス工芸体験



コーネル大学近くのハイキング

僕は、この海外研修で多くのことを学びました。この研修で一番学びたかったことは、



いしだ そら
石田 空さん
馬頭中2年

大人になったら、自分のお金でホースヘッズに行つて、ビショップ家の人たちにまた会いたいです。



あくつ みゆ
阿久津美悠さん
馬頭中2年

私は、この研修に参加できてよかったと思っています。それは、ピザ作りや中学校の授業参加やガラス工芸作りなど、ホースヘッズでいろいろな体験ができたことです。ホームステイではホストファミリーの人たちがホテル以上のサービスをしてくれました。だから、ホストファミリーと別れるのはすごく寂しかったです。

この12日間の体験は、どれも本当に楽しかったです。家族は、質問をたくさんしてくれたり、色々な所へ連れて行ってくれました。姉妹のミケンたちと、ダンスのゲームをする時間が好きでした。家での食事はそこまで多くなかったので意外でした。ステーキやハンバーガーがと



かわかみ さえ
川上 彩笑さん
馬頭中2年

アメリカの人とのコミュニケーションをとるということでした。僕は、最初アメリカの方とちゃんと話せるのが不安でしたが、アメリカの方たちはすごく優しくしてくれて、そこまでの苦戦はしませんでした。僕はこの研修でのホストファミリーとのお別れの時に、目から涙があふれてしまいました。僕はこの研修に参加できて本当によかったと思います。本当にありがとうございます。

僕は、ホースヘッズ村で心に残ったことが二つあります。一つ目はホースヘッズの人たちが、とても親切だったことです。何か困ったことがあった時には、すぐに解決してくれました。それがとても嬉しかったです。二つ目は学校の様子です。アメリカでは日本と違い、質問にはほとんど全員が手をあげていました。授業中に普通にガムやアメなどを食べていたことにも驚きました。ホースヘッズ村で思い出をたくさん作りました。将来、もう一度ホースヘッズ村に行きたいです。



さとう こうすけ
佐藤 功亮さん
馬頭中2年

でもおいしかったです。学校の生徒は、明るくて話しやすい人ばかりでした。授業中はすごく真面目なことが分かりました。最後の別れはつらかったけど、一生忘れられない貴重な体験になりました。



スポーツナイトにて



折り紙を通じた交流



異文化交流 習字



アイスホッケー試合観戦



ピザ作り体験



鈴木 陶子さん
馬頭中2年

これだけのことをさせていたいただいた町や、たくさんの方に感謝します。

約一週間の出来事でしたが、とても大きな友情が生まれ、たくさんの方の経験ができました。遠く離れてはしまいましたが、これからもずっと関係を保っていきたいと思います。

僕は、ホースヘッズ村でケニーファミリーの家にホームステイしました。ファミリーは、本当の家族のように温かく迎えてくれました。他の家の子や学校の友達なども、楽しそうに接してくれたので、僕もすぐにホースヘッズ村の一員として、村にとけこめたような気がします。



嶋崎 由海さん
馬頭中2年

私は、アーデルホルド家でホームステイをしました。一番楽しかったことは、学校を訪問したことです。日本とアメリカでは、ルールや移動教室の仕方が違うことが分かりました。その他、生徒がたくさん話しかけてくれて友



藤田 悠花さん
馬頭中2年

私はホースヘッズ村で、とても貴重な体験をすることができました。私のホームステイ先の家族は、とても親切でした。私が一番思い出に残っていることは、ホッケーの試合に連れて行ってもらったことです。試合の前に、大きなスクリーンに、私たち一人ひとりの名前が出た時は、とてもうれしかったです。

僕のホームステイ先は、ミス家でした。両親、パトリック、姉2人の5人家族です。パトリックは、ぼくと同じ年の男の子です。パトリックは、バスケットと野球が上手で、サッカーもできます。ミス家はとても優しくおもしろかったです。特に、食事中にやさしい日本語で話しかけてくれたり、車の中で音楽が流れると踊りだしたりするところが楽しかったです。ミス家で、思い出に残る楽しいホームステイができました。



穴山 真也さん
小川中2年

達になれたことがうれしかったです。ホームステイでは、家族みんなが親切にしてくれました。ホットバスに入ったことが心に残っています。一緒にいてとても楽しい家族でした。良い思い出がたくさんできて良かったです。



自由の女神をバックに



ありがとうパーティー よさこいソーラン披露



ニューヨークシティにて



機内にて食事

僕は、この海外研修で学んだことがたくさんあります。その中でも、自分が目標とし



かたおか ともや
片岡 知也さん
小川中2年

この体験で学んだことを活かして生活していきたいです。二つ目は、文化の違いです。日本では、授業の前にあいさつをしますが、それが無いなど、違いはいろいろありました。

一つ目は、人の温かさです。一週間という短い間にたくさんの人に出会いました。一生懸命に日本語で話しかけてくれる方もいました。みんな、優しく接してくれました。

私は、このホースヘッズ村でのホームステイを通して思ったことが二つあります。



おのおの きほ
大野口セル希歩レベッカさん
小川中2年

いた、英語力の向上が一番よく感じられました。初日は、普段学校でやっているリスニングよりもすごく早口でしゃべっていて、あまり聞きとれませんでした。でも、日を重ねていくうちに、聞きとれるようになり、会話が成り立っていきました。

また、新しい家族との別れに、互いに涙をこぼし、国境を越えた絆を感じる事ができました。夏には今度受け入れる側なので、良いおもてなしをしてあげたいです。



かめだ あかね
亀田 朱音さん
小川中2年

私は、海外に行くのが初めてだったので、毎日が冒険のような日々でした。私のホストファミリーはみなさんとてもよくしてくださって、充実した日を送ることができました。

学校では、日本のようにノートをずっと書いているよ

うな授業がありませんでした。学校の人は、「こんにちは」とあいさつをしてくれる人がいたのでうれしかったです。



ながもり りゅうと
永森 隆斗さん
小川中2年

僕は、今回の海外派遣を通してたくさん事を学びました。

最初は、アメリカに行くという事で、不安がたくさんありました。飛行機に乗るのも初めてで、機内の中でも不安がたくさんありました。しかし、ホースヘッズに着くと、ホストファミリーのケニーさんが笑顔で迎えてくれ、今までの不安がなくなりました。

僕は、今回のホームステイでアメリカの方のやさしさと、アメリカの文化を知る貴重な経験をする事ができました。

副町長に岡 由樹夫氏



4月1日付けで新しく副町長となられた岡由樹夫氏(前県土整備部住宅課課長補佐)に、抱負をつかがいました。

副町長としての抱負は？

この度、那珂川町副町長として仕事をさせていただくことになりました。

私にとっては、本当に身に余る光栄でありますと同時に責任の重さに身の引き締まる思いであります。

福島町長を補佐し、議会や関係団体の皆様の御協力をいただくとともに緊密に連携を図りながら、活力と魅力に満ちたまちづくりの実現を目指して取り組んで参ります。

町民の皆様様の御指導と御鞭撻を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

好きな言葉は？

困難の中にこそ、機会がある。(アインシュタイン)

平成28年度 那珂川町職員配置一覽

平成28年4月から、妊娠・出産から子育てまで一貫した支援を行う、子育て支援課が新設されました。4月1日付けの人事異動に伴う、職員の配置は次のおとりです。
※異動(新規採用者含む)があった職員は赤字、○は昇任者

総務課 ☎(92)1111

- 課長 橋本 民夫
- 課長補佐 板橋 文子
- 課長補佐(庁舎整備担当) 佐藤 裕之

●行政係

- 係長 藤田 寿彦
- 主査 仲野谷智子
- 主査 露久保 一
- 主事 星 孝範

●管財係

- 係長 加藤 博行
- 主査 小高 博史
- 主事 秋元 一彦

●消防交通係

- 係長 田角 章
- 主査 奈良 大輔
- 主事 板山 篤史

※広域行政事務組合派遣

- 課付課長 山口 守
- 課付主査 ○佐藤 洋平

※栃木県市町村課派遣

- 課長 佐藤 美彦
- 課長補佐 益子 雅浩
- 課長補佐(地域振興担当) 小松 重隆

課長補佐兼広報広聴係長

- 藤浪 京子

●企画調整係

- 係長 久保寺康之
- 主査 大森 祐城

●財政係

- 係長 横山 和則
- 主査 笹沼 正嗣

●広報広聴係

- 主事補 秋元 梢

●情報管理係

- 係長 佐藤 康隆
- 主事 大金 弘明

ケーブルテレビ放送センター ☎(92)1121

- 主事 課長補佐兼ケーブルテレビ係長 江口 義男
- 主事 ケーブルテレビ係 菊池 良

●税務課 ☎(92)1120

- 課長 稲澤 正広
- 課長補佐(徴収担当) 吉住 二郎
- 課長補佐(課税担当) 篠江智恵子

●管理収税係

- 係長 星 善浩
- 主査 高野 愛子
- 主事 大金 知織

●住民税係

- 係長 杉本 篤
- 主査 小室 達夫

●資産税係

- 係長 高野 曜路
- 主事 薄井 里枝
- 主事補 石澤 聡

※矢板県事務所(併任)

- 主事 小川 将照
- 課長 鈴木 眞也
- 課長補佐(生活環境担当) 高瀬 敏之

●戸籍住民係

- 係長 金子 洋子
- 課付係長 ○藤田 洋美
- 主事 菊池 明子
- 主事 小高美奈子

●保険年金係

- 係長 大金 典彦
- 主事 福田 貴行
- 主事 星 晴奈
- 主事 石田千麻紀

●生活環境係

- 係長 大橋 裕一
- 主事 中野 健太

※後期高齢者医療広域連合派遣

- 主事 福嶋 雅俊

●環境総合推進室 ☎(92)1110

- 室長 鈴木 雄一
- 室長補佐 薄井 亮
- 環境推進係 屋代 正子

健康福祉課 ☎(92)1119

課長兼健康管理センター所長 ○立花喜久江

●社会福祉係 課長補佐 薄井 和夫

係長 加藤美智子

主査 猪股 倫子

主事 鈴木美裕紀

●高齢福祉係 係長 村上 明美

課付係長 ○永森 強

主事 藤田 智美

健康増進係 ●健康増進係 係長 益子 利枝

課付係長 星 裕之

管理栄養士 小室 綾恵

地域包括支援センター ☎(96)2161

主幹兼小川総合福祉センター所長(地域包括支援センター担当) ○田所 明

課長補佐兼地域包括支援センター所長 秋元千代子

主任看護師 小山田智子

社会福祉士 立川 正史

保健師 柴田 理美

主査 ○小林 宏美

主事 鈴木 倫央

●母子保健係 主任保健師 磯野 律子

保健師 高橋 麻紀

保健師 手束 奈津

馬頭中央保育園 ☎(92)2202

園長 ○大金 浩子

主任保育士 薄井 隆子

保育士 伊藤由紀子

保育士 天沼 久恵

保育士 菊地真祐美

保育士 永井 千穂

保育士 星 将司

保育士 伊藤佐由加

保育士 田代 寿樹

保育士 岡安 柚佳

保育士 森山 佳澄

主任調理員 岡 文子

保育士 高野 路康

保育士 佐藤 希美

保育士 長谷川文香

保育士 佐藤 有加

保育士 藤澤佳代子

保育士 小口 歩

保育士 菊池 美穂

保育士 黒川 聖華

子育て支援センターわかあゆ ☎(96)5223

技術員 小泉 久美(再)

主幹兼園長 ○小林 順子

教頭 ○大武 淳子

主任教諭 佐藤 尚巳

教諭 川井 愛純

教諭 高野 優希

園長 ○鈴木 政江

小川幼稚園 ☎(96)2130

教諭 高瀬 弘

主事 佐藤 禎晃

主事 関谷 龍太

※栃木県烏山土木事務所派遣 課付主事 川上 雅彰

農林振興課 ☎(92)1113

課長 坂尾 一美

課付課長(農業委員会事務局長併任) ○大森 新一

課長補佐兼農地調整係長 深澤 昌美

課長補佐(農林整備担当) 小室 利雄

●農政係 係長 鈴木 浩史

主事 岡 健太

主事 水井 巧

主事補 磯野 大

主事 川井奈都子

主事 佐藤 勇生

主事補 高橋 智也

●農地調整係(農業委員会事務局併任) 主査 小高 恵

主事 阿久津康史

商工観光課 ☎(92)1116

課長 ○薄井 桂子

課長補佐兼町民係長兼福祉係長 藤田 善久

課長補佐兼総務係長 ○岡 多恵子

●総務係 課付係長 佐藤 郁夫

●町民係 課付係長 高野 恵

主査 石塚 章貴

主査 ○五月女倫子

●福祉係 課付係長 齋藤 貴之

●会計課 ☎(92)1117 会計管理者兼課長 田村 正水

課長補佐 小松 悦子

●学校教育課 ☎(96)2114 主事 齋藤 昌代

課長 藤澤 祐紀

課長補佐 薄井 健一

●学校管理係 係長 豊田 博之

主事補 宮崎 智子

●学校教育係 係長 加藤 啓子

課付係長 加藤 啓子

学校給食センター ☎(92)2049 主幹兼所長 菊池 政広

生涯学習課(96)2116

課長 笹沼 公一

課長補佐 坂尾 三穂

課長補佐(社会教育主事・指導主事) 山口 武彦

生涯学習係

係長 星 学

課付係長 ○友田 哲也

主事 小高 三恵

スポーツ振興係

係長 川上 昌之

主事 田口 寛崇

主事補 山崎 真衣

なす風土記の丘資料館

☎(96)3366

課長補佐兼文化振興係長

主査 屋代 真一

主事 近藤 美幸

学芸員 池田まり子

学芸員 金子 智美

図書館

馬頭図書館(92)5015

小川図書館(96)2335

主幹兼館長 ○星 文子

課長補佐 高林 和枝

課付係長 石井 美帆

主事 野上 康二

馬頭公重美術館(92)1199

主幹兼事務長 北條 清

主任学芸員 長井 裕子

課付係長 笠井智恵子

学芸員 山内 れい

議会事務局(96)2112

事務局長 ○高林 伸栄

局長補佐兼議事係長 岩村 房行

庶務係

係長 長家佳奈子

上下水道課(92)2002

課長 田代 喜好

課長補佐 小高 誠一

業務係

係長 仲野谷智弘

主事 興野 瞳

水道係

係長 橋本 秀一

課付係長 ○佐藤 武

技師 佐藤将太郎

主任技術員 菊池 一彦

下水道係

係長 長山 康志

主事 川俣 貴弘

退職者

建設課長 秋元 彦丈

農林振興課付課長 藤田 悦子

学校教育課長 長谷川幸子

健康福祉課主幹兼大内保育園長 高野 純子

学校教育課主幹兼ひばり幼稚園長 小泉 久美

健康福祉課主幹兼わかあゆ保育園長 鈴木 薫子

上下水道課長補佐兼下水道係長 関根 了

学校教育課長補佐(馬頭中学校兼馬頭小学校) 縣 千恵子

生涯学習課長補佐(なす風土記の丘資料館) 眞保 昌弘

健康福祉課長補佐兼馬頭中央保育園長 大金佳代子

学校教育課長補佐兼ひばり幼稚園園長 岡 てる子

税務課住民税係長 小室みどり

健康福祉課主査 菊地 智哉

税務課主事 吉成 裕隆

健康福祉課保育士(わかあゆ保育園) 久保居厚子

学校教育課主任事務員(馬頭小学校) 益子 悦子

健康福祉課主任調理員(大内保育園) 高野美代子

健康福祉課主任調理員(馬頭中央保育園) 佐藤 久江

学校教育課事務員(小川中学校) 小森美千代

地域おこし協力隊

☎(92)2825

隊員 稲垣 侑子

隊員 小島 徳明

隊員 小鮎 千文

隊員 佐藤 悠矢

隊員 戸松 淑朗

隊員 佐藤 豊彦



佐藤 豊彦



戸松 淑朗



新採用職員を紹介します。

前列右から、

高野 優希(ひばり幼稚園)

黒川 聖華 (わかあゆ保育園)

山崎 真衣(生涯学習課)

益子 恵(大内保育園)

森山 佳澄 (馬頭中央保育園)

宮崎 智子(学校教育課)

後列右から、

石澤 聡(税務課)

水井 巧(農林振興課)

高橋 智也(農林振興課)

小林 愛美(商工観光課)

秋元 梢(企画財政課)

川上 莉代(小川幼稚園)

金子 智美

(なす風土記の丘資料館)

ようろしく
願います

